

「10年後の静岡を創るスーパーセミナー」（第6回 旅人来りて曰く、廁所在哪里（トイレはどこですか）？～ 観光と海外展開）平成29年5月6日（土）開催  
 座長・講師への質問と回答 ※セミナー終了後のアンケートの座長、講師への質問欄に寄せられた質問への回答です。

質問等	回答
<p>県内在住の外国にルーツを持つお子さんも有効な資源だと考えております。彼ら/彼女らを活用される見通しはお持ちでしょうか。</p>	<p><b>【株式会社ジェイティービー 北上 ITセキュリティ対策室長】</b>        現在でも、インバウンドの部門を中心に、社員や専門スタッフとしての採用などを行っております。        今後は、益々、伸び続けていくインバウンド部門のニーズを中心に、日本発着以外にも、グローバルなビジネスを展開していくためには、必要不可欠と考えております。</p> <p><b>【静岡鉄道株式会社 水野企画部長】</b>        静岡県内の小学校・中学校・高等学校には約5千人の外国籍の児童生徒が在籍していますが、全体に占める割合は1.3%と、全国平均（0.6%）の2倍以上にのびます。加えて、外国にルーツを持つ日本国籍のお子さんも相当数いることでしょうか。異文化のある日常に育ったことやマルチリンガルであることなどは彼らの貴重な個性だと考えます。同国人どうしでは気づかないような洞察力や独創性も持ち合わせていることでしょうか。将来は、海外への情報発信やインバウンドのもてなしといった日本と外国をつなぐシーンはもとより、社会的少数者など人々の多様性を受容し包摂的な社会を実現していくデザイナーとしての活躍も期待されます。</p> <p>（参照）        文部科学省「学校基本調査」平成28年度結果        静岡県「学校基本統計」平成28年度結果</p> <p><b>【株式会社静岡銀行 齋藤国際営業部国際営業統括グループ長】</b>        当行では、「しずぎんアジア留学生奨学金制度」により県内大学に留学中の学生向けに支援制度を設け、また「海外からの留学生採用制度」により外国人</p>

質問等	回答
	<p>の採用活動を行っております。県内企業は全般に少子高齢化が加速していることも勘案し、これまで以上に国際化が進展していくものと考えられます。当行も引き続き、採用活動にあたっては分け隔てなく行っていく所存です。</p>
<p>清水港の来客が増えますが、日本平、清水の観光ルートについて整備も含め教えてください。</p>	<p><b>【静岡鉄道株式会社 水野企画部長】</b></p> <p>大型クルーズ船からは一度に数千人の乗客が下り立ちます。彼らの間ではアウトレットモールへのショッピングが人気のようですが、三保松原や日本平などの観光ルートや、茶道や着物の着付けなどの体験も喜ばれています。とくに日本平ではさまざまな施設の整備が計画されており、山頂には展望回廊やシンボル施設が建設される予定です。また、ロープウェイのりば併設の日本平パークセンター（現在、仮設営業中）も数年後にはリニューアルされるようです。さらに、西麓にあたる駿河区大谷地区では東名高速道路のスマートインターチェンジが新設される予定です。</p> <p>なお、本年は月曜日入港のプランが多いのですが、博物館や美術館等、周辺の観光施設の多くが月曜休館のため、こうした点に対応することで観光ルートのバリエーションもより多彩になることでしょう。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生が静岡に来て、得られるものはなんですか？静岡の魅力と共に教えてください。</li> <li>・留学生からみでの静岡の魅力は何ですか。</li> </ul>	<p><b>【静岡県立大学経営情報学部 尹教授】</b></p> <p>東京や大阪のような大都会では経験できない豊かな自然（ex.,富士山、山あり海ありの風景、お茶畑の景色）や、温和な気候に恵まれた過ごしやすい生活環境、穏やかな人々の人情との触れ合いなどに多くの留学生が魅力を感じているようです。お茶や食べ物のおいしさも静岡の大きな魅力のようです。</p>